■社会貢献活動

項目	内　容
「ビッグデータ実践フォーラム」の開講	大阪電気通信大学では、4月18日（月）から7月18日（月）まで毎週月曜日に「ビッグデータ実践フォーラム（公開講座）」を計13回開講します。 本学では、2009年の金融経済学部開設以来、これまで我が国を代表する金融機関各社のご協力により講師の派遣を受け、授業の中で活きた資産活用等の実務教育をおこなってまいりました。また、大学として日本で最大規模を誇る12台のBloomberg端末を用いて実習を行なう、「ビジネスとIT」というテーマで、ビッグデータ時代を意識した情報教育にかを入れております。今回のフォーラムは、金融・健康・医療・3Dプリンタなど話題の分野から第一線で活躍されている専門家を招き、ビッグデータの利活用について わかりやすく紹介する内容を予定しています。本フォーラムは在学生のみならず、社会人や地域の方々にもご参加いただける公開講座として実施しております。
アメフト部、寝屋川市駅で熊本地震募金活動	熊本地震の被災者を支援するため、体育会アメリカンフットボール部（堀川航希主将）の学生約15人が5月6日（金）、7日（土）の2日間、京阪寝屋川市駅周辺の3カ所で、募金活動を行いました。学生たちはユニフォーム姿で「募金に協力をお願いします」と、白球の練習で鍛えた声で協力を呼びかけていました。堀川主将は「東日本大震災の時に、東北の学生たちが部活動ができなくて困っているという話を聞いた。スポーツをしている者として、何ができることはないかと考え、募金活動をすることにした」と話しており、連休明け5月9日（月）からの5日間、寝屋川キャンパスでもＪ号館前で募金活動を行いました。
電ｃｈICG合成＆缶バッジ制作体験	5月8日（日）、寝屋川市のショッピングモール「ビバモール寝屋川」で、電ch!（でんチャン）の電chuブチームの学生11人が、CG合成＆缶バッジ制作体験のイベントを実施しました。モールのゴールデンウィーク企画「GWちびっこ大集合」の一環で、次々に訪れる親子連れに楽しんでもらいました。電ch!（でんチャン）は、プロスタッフの協力のもと、本学学生がデジタルコンテンツを制作するプロジェクトです。
笠置中学校（京都府）の大学体験・見学会を実施	5月12日（木）、京都府相楽東部広域連合立笠置中学校の2年生14名と先生方2名を対象に、本学四條畷キャンパスにて大学体験・見学会を実施しました。本学の概要紹介の後、先端マルチメディア合同研究所JIAMS（ジェイムス）で、既存の映像に実際の映像を合成するCM制作体験や、映像に効果音をあてるアフレコ制作体験、人間の動きをCGキャラクターに反映する「モーションキャプチャー」体験及びCGスタジオ見学を行っていただきました。また、昼食は本学の食堂を利用し、キャンパスライフの雰囲気も楽しんでもらいました。中学生の皆さんは元気いっぱいで、各種体験に積極的に取り組み、完成した映像や音像に大いに盛り上がっていました。本学施設での体験を通じて、大学での学びを知る貴重な機会となりました。
ベリーベリープロジェクトと東日本大震災復興支援会社の共同開発、炭酸飲料『ソルティ・ラズベリー』を販売	本学の学生が主体となってラズベリーの栽培と商品開発を行う「ベリーベリープロジェクト」と、東日本大震災復興支援会社「株式会社がけあしの会」が共同して、炭酸飲料『ソルティ・ラズベリー』を開発しました。ベリーベリープロジェクトとは、本学工学部環境科学科齋藤研究室の学生を中心として、健康に良いとされるポリフェノールを多く含むラズベリーの栽培とその商品開発を行っています。学生自らが地域の方々や企業と連携し、主体的に取り組むことで、学生の成長と地域の活性化をはかることを目的としています。株式会社がけあしの会は、東日本大震災復興を目的として立ち上がった復興支援会社で、雇用の支援をはじめ岩手県産の商品開発などを行っています。
「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」に参加	本学では、環境省が地球温暖化防止のため、照明を消すよう呼びかけている「CO2削減／ライトダウンキャンペーン」に、2016年度も参加しました。具体的な取り組み内容として、7月7日（クールアース・デー※）の夜8時から10時までの2時間、屋外照明の消灯を実施します。この取り組みにより、計21.68kWhの電力を節約することができます。
平成28年 大阪中学生サマー・セミナーの開講	中学生の夢を実現するために、大学を中心とした専門機関が様々な講座を開講する「平成28年 大阪中学生サマー・セミナー」が、大阪中学生サマー・セミナー推進協議会（大学コンソーシアム大阪）他の主催により開催されます。その中で本学は7月24日（日）から8月26日（金）までの間、全8講座を担当します。 7月24日（日）　13:30～15:00　「色が変わるうどん」をつくろう　―酸と塩基の性質― 7月28日（木）　13:00～16:00　電波の実験室「ラジオの製作」 7月30日（土）　14:00～15:30　ねこ背になるとどうなるの？？ 8月 1日（月）　10:00～16:00　集積回路を設計してみよう！ 8月 5日（金）　9:50～15:00　光で遊ぼう：（1）光で音楽を飛ばそう、（2）光ファイバの不思議 8月10日（水）　10:00～15:00　MindstormsNXTを用いたロボット作り教室 8月19日（金）　13:00～16:10　音声や画像をいろいろ加工してみよう！ 8月26日（金）　10:00～12:30　環境技術体験教室「燃料電池のしくみを学ぼう！」
寝屋川市老人クラブ連合会の皆さんが来学され、見学会を実施	8月3日（水）、寝屋川市老人クラブ連合会の皆さんが来学され、「大学概要説明・施設見学会」を開催しました。この見学会は、寝屋川市老人クラブ連合会からのご要望にお応えする形で実施することになり、大学概要説明や質疑応答の後、物理学実験室にて最先端の設備を見学していただきました。
「第52回大阪電通大チャリティーラリー 丹後半島ラリー2016」を開催	8月27日（土）、28日（日）の2日間、京都府京丹後市において、本学体育会自動車部の主催（大会会長：大石利光学長）による「第52回大阪電通大チャリティーラリー 丹後半島ラリー2016」が開催されました。28日に京丹後市役所で行われたセレモニアルスタートでは、大石利光大会会長のフラッグを合図に、次々とラリーカーがスタートを切りました。この丹後半島ラリーは、一般社団法人日本自動車連盟（JAF）公認国内競技として、JAF中部近畿ラリー選手権、JMRC近畿SSラリーシリーズ、TOYOTA GAZOO Racingラリーチャレンジカップのタイトルとして開催されており、JAF中部近畿ラリー選手権・JMRC近畿SSラリーより42チーム、TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジカップより33チームの計75チームが出場しました。
産学連携講座「3D造形演習」の開講	8月23日（火）から9月2日（金）の期間中、4回にわたり本学と大阪商工会議所との産学連携による講座「3D造形演習」が開催されました。この講座は、情報通信技術（ICT）を活用した地域のモノづくりの活性化及び3D造形に関する人材育成を目的としており、3Dプリンタの活用を考える企業を対象とした社会人向けの講座です。演習を終えた後は3D造形先端加工センターに移動し、3Dプリンタをはじめとした最先端の工作機械や造形物をご覧いただきました。4日間という短い期間ではありましたが、受講者の方々は非常に熱心に取り組まれ、3D造形についての理解を深めていただくことができました。
「寝屋川市内４駅一斉清掃奉仕活動」に参加	寝屋川市主催で年４回、市内４駅前の清掃を行う「寝屋川市内４駅一斉清掃奉仕活動」に本学の学生と教職員が参加しています。社会を明るくする運動推進委員会では、「まちを明るく清潔にする運動」の取組みの一つとして、3月、6月、9月、12月の第1日曜日に、市内4駅（京阪寝屋川市駅、萱島駅、香里園駅、JR東寝屋川市駅）前にて清掃活動を行っています。本学でも、社会貢献活動の一環として、「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という美化意識をもって、学生の若い力をまちづくりに活かす、地域の活性化、人材育成を目的とする寝屋川駅の取り組み趣旨に賛同し、参加しています。本学では、2010年度から「人と環境に優しいプロジェクトを推進する」キャンペーンを実施しています。
「大阪880万人訓練」に参加	9月5日（月）の11時頃、大阪府が実施する「大阪880万人訓練」に参加しました。「大阪880万人訓練」は、府民が様々な情報源から地震・津波発生情報を認識し、地震・津波発生時に行動できるようにすることを目的として実施されています。本学では、携帯電話による「訓練緊急速報メール」が配信されるのを受け、館内放送、初動指導、安否確認、指定場所への避難など、一連の訓練を行いました。学生や教職員が多数参加し、各研究室・各部署が連携してスムーズに避難することができました。一人ひとりの防災意識を高め、防災訓練の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。
関西文化学術研究都市7大学連携「市民公開講座2016」で本学教授が講演	8月26日（金）から9月9日（金）の期間中、関西文化学術研究都市7大学連携「市民公開講座2016」が国立国会図書館関西館大会議室にて開催されました。 この講座は、関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）に立地している7つの大学と国立国会図書館関西館との共同企画により開催され、『けいはんなから「知の発信」』をキーワードとし、一般市民の方々の関心の高い分野について、専門の講師が最先端の研究事例を分かりやすく解説するものです。本学からは9月9日（金）に、医療福祉工学部理学療法学科の小柳磨毅教授が「加齢に伴う身体変化～からだの変化に気づく介護予防運動の紹介～」というテーマで講演を行いました。小柳教授は、日常で不自由に感じている身体のチェックとメンテナンスのための柔軟運動や筋力トレーニングなどを紹介し、理学療法士を目指す理学療法学科の2年生4人が小柳教授の説明にあわせてトレーニング法の実演を行いました。
四條畷市の「スッキリボディ教室2016」を開催	四條畷市立保健センター主催「スッキリボディ教室」に今年も本学が協力します。おおむね70歳までのお腹周りが気になっている方を対象に、保健師や栄養士、健康運動指導士が講義や運動指導を行い、メタボを解消しスッキリボディをめざすという教室です。全7回の開催のうち、3・5回目を医療福祉工学部健康スポーツ科学科武田ひとみ教授が、1・7回目を同学科の太田暁美准教授が担当します。 ■日程・内容（全7回） 1、2016年 9月14日（水）運動の正しい知識（健康スポーツ科学科　太田准教授担当） 2、2016年 9月29日（木）効果的なウォーキングとは 3、2016年10月18日（火）運動講義（健康スポーツ科学科　武田教授担当）、健康をつくる３つのお皿 4、2016年10月28日（金）筋トレのコツ 5、2016年11月22日（火）運動講義（健康スポーツ科学科　武田教授担当）、お野菜ちゃん、ちょっとの工夫で大満足 6、2016年12月 8日（木）運動・栄養の総まとめ 7、2017年 3月18日（土）イオンモール四條畷にてモールウォーク、講義（健康スポーツ科学科　太田准教授担当）
「親子孫でたのしい仮説実験講座」を開催	9月17日（土）、18日（日）、“温度と分子運動”をテーマにした公開講座「親子孫でたのしい仮説実験講座」が寝屋川キャンパスで開催されました。 1日目は「熱の正体」、2日目は「蒸発と分子運動」をテーマに、分子が激しく動くことによって熱が生まれる現象を、針金を何度も折り曲げたり、火打ち石や摩擦熱で湯を沸かす実験などで確かめました。参加者の皆さんは家族で協力しながら楽しく実験に取り組まれ、科学を身近に感じていただくことができました。親子孫でたのしい仮説実験講座」は、大学近隣の地域の方々を中心に、親子孫の3世代を通して科学の楽しさを実感していただくことを目的とした理科実験講座で、本学の理科教職課程のアクティブ・ラーニングも兼ねて、基礎理工学科の教員によって企画運営されています。
「ラブリーフェスタ’16」に本学が出展	10月10日（月・祝）、京阪古川橋駅周辺にて「ふれ愛・にぎわい！ラブリーフェスタ’16」が開催されました。このイベントは「ラブリータウン古川橋」の まち開き20周年記念事業として2004年より続き り、今回が第12回目の開催となります。本学はイオン古川橋駅前店屋上で「くまもんの缶バッジをつくろう!!」と「ラブリーマンたちと拳で闘え！」の2つのブースを出展し、総合情報学部デジタルゲーム学科などの学生計27人がスタッフを務めました。「くまもんの缶バッジをつくろう!!」は、参加者が写真を撮り、くまもんと2ショットの画像をCG合成して缶バッジにするというもので、お届け後には行列ができほどの盛況ぶりでした。缶バッジは1枚100円で、この売上金は全て熊本地震の被災地支援として日本赤十字社を通して寄付されます。
「新天地 in NEYAGAWA 2016」でプロジェクションマッピングを上映	10 月15日（土）、寝屋川市の地域イベント「新天地 in NEYAGAWA 2016」が開催され、本学の産学官共同研究施設であるJIAMS（先端マルチメディア合同研究所）がプロジェクションマッピングを上映しました。今年は寝屋川市立中央小学校創立50周年を記念し、同小学校の校舎の壁を使って上映が行われました。19時30分から20時からの2回、それぞれ約10分間の上映で、同校の子どもたちのアルバムをはじめ、色鮮やかな映像が次々と映し出されました。その迫力ある映像に、集まった児童やご家族、地域の方々からは感動の声があがり、イベントは大盛況のうちに幕を閉じました。「新天地 in NEYAGAWA」は、学生たちがそのエネルギーと感性を活かして町に活性化に貢献したいという趣旨で開催されるもので、本イベントでのJIAMSによるプロジェクションマッピングの上映は5回目となります。
「いきいき健康づくり がんばれ中高年！健康寿命を延ばそう！市民の集い」に出展	10月23日（日）、四條畷市立西中学校で開催された「いきいき健康づくり がんばれ中高年！健康寿命を延ばそう！市民の集い」に出展しました。このイベントは中高年を対象に健康づくりに取り組んでもらうきっかけづくりを行うこと、また健康づくりの輪を広げることを目的として四條畷市保健センター主催で開催され、本学は、医療福祉工学部理学療法学科の吉田研究室（吉田正樹教授）による「足の裏の状態の測定評価」を実施しました。健康への関心が高まる中、毎年好評をいただいているイベントで、今年も学生による足裏の測定と結果説明を行い、多くの市民の方に体験していただきました。
「ねやがわクリーンデイ」に参加	10月23日（日）に寝屋川市主催で開催された「ねやがわクリーンデイ」に、本学から16人の学生と6人の教職員が参加しました。この日は10時に寝屋川市立第一中学校に集合し、セレモニーのあと、中学校区内の道路・公園等の地域清掃活動と啓発活動を行いました。クリーンデイは「自分たちのまちは自分たちできれいにする」という美化意識、自治意識の向上を図るために行われている市内の清掃・啓発活動です。
大学祭で「いわて宮古の海プリン」と「うまカレーうどん」の模擬店を出店	11月5日（土）、6日（日）に開催される「第56回大学祭」で、東北復興支援を目的とした「いわて宮古の海プリン」、熊本復興支援を目的とした「うまカレーうどん」の模擬店を、有志の学生と学生課から、寝屋川キャンパス最寄駅前に出店しました。「いわて宮古の海プリン」は、岩手県宮古水産高等学校の生徒の皆さんが製品開発に携わっており、3年連続で出品している人気商品。「うまカレーうどん」は今年初登場！ヘルシーな馬肉を使ったカレーうどんです。
守口市立第一中学校の2年生を対象に「職場体験」を実施	11月1日（火）、2日（水）の2日間、守口市立第一中学校の2年生2人を対象とした「職場体験」を実施しました。「職場体験」は、生徒が事業所などの職場で働くことを通じて、職業や仕事の実際について体験したり、働く人々と接したりする学習活動です。生徒が学ぶことや働くことの意義を理解し、また主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲など培うことを目的としています。このたび守口市立第一中学校からの依頼のもと本学が協力し、寝屋川キャンパスの図書館で実施しました。図書の受け入れやラベル貼り、データ入力などを中心に、2日間にかけて様々な業務を体験してもらいました。
「テクノフェアinねやがわ」を開催	11月6日（日）、最先端の科学技術をわかりやすく紹介する、見る！触れる！学ぶ！体験イベント「テクノフェアinねやがわ」を寝屋川キャンパス・駅前キャンパスで開催しました。当日はスタート前から総合受付には行列ができ、終日来場者が途絶えない盛況ぶりでした。モノづくりのプログラムでは、子どもたちはもちろん保護者の方々も一緒に半田ごてを握り、家族揃って取り組む様子が見られました。またY号館中庭では毎年恒例の「頭蓋としコンテスト」が行われ、頭が落とされるたびに、大勢の来場者から歓声や拍手があがりました。約2500人の方々にご来場いただき、科学技術の面白さを感じていただくことができました。
四條畷市との官学連携プロジェクト「奎池いきもの王国」を開催	11月13日（日）、四條畷市の緑の文化園・むろいけ園地で「奎池いきもの王国」が始まりました。「奎池いきもの王国」は、本学と四條畷市の官学連携プロジェクトの第1弾で、大阪府内有数の森林浴スポットである奎池周辺を巡りながらクイズやカードゲームを楽しむという企画です。「電ch！（でんチャン）」に所属する教職員や学生らがその知識やノウハウを活かしながらカードゲームやアプリ、動画を制作しています。
熊本地震における復興支援活動について	この度、本学では被災地支援の取り組みの一環として、本学のオリジナルポロシャツを制作し、その売上協力金の一部(57,970円)を熊本県大阪事務所へ義援金として寄付させていただきました。この取り組みは、2016年4月に発生しました熊本地震により甚大な被害を受けました、熊本県の被災地復興及び経済活性化の一助となることを目的としています。デザインは、熊本県出身で本学総合情報学部デジタルゲーム学科のナガタタケシ准教授によって手掛けられ、「がんばろうくまもと ＯＥＣＵ」とポロシャツの左胸に印字しました。本学では、このポロシャツをクールビズ対応の服装として着用することで、被災地への想いを広めることなく、被災地の復興を応援しています。
「第5回みやこほっこり映画祭」に協力	本学は、東日本大震災の復興支援の一環として、12月2日（金）～4日（日）に岩手県宮古市で開催された「第5回みやこほっこり映画祭」（主催：ほっこりみやこ実行委員会）に協力しました。東日本大震災で被災した宮古市の地域文化を活かした地域づくりプロジェクトである「みやこほっこり映画祭」は、地域のみんなで楽しむ参加型映画祭です。2012年にスタートし、5回目を迎えたこの度の映画祭では、「あの、素晴らしい映画をもう一度」をテーマに全15作品が上映され、合計422人が来場しました。本学では、「プロジェクションマッピングを体験しよう！」と題して、プロジェクションマッピングのワークショップを担当しました。ワークショップは4日（日）、江戸時代に建てられた酒蔵を活用した会場で開催され、プロジェクションマッピングの解説をはじめ、参加者それぞれが思いのまま描いた絵を、協同で製作した立体の造形物にマッピングしました。自分で描いた絵が立体物に映し出されると、「すごい！」と歓声があがっていました。
寝屋川市立第五中学校の2年生を対象に「職場体験」を実施	1月16日（月）から18日（水）の3日間、寝屋川市立第五中学校の2年生2人を対象とした「職場体験」を実施しました。「職場体験」は、生徒が事業所などの職場体験を通じて、「自己の将来の職業または進路に対する理解を深めること」を目的とした体験学習です。今回は寝屋川市立第五中学校からの依頼のもと、駅前キャンパスにて実施しました。3日間にわたり、講義資料の配布やアンケートの回収、郵送物の封入など、様々な業務を体験していただきました。2人は初めての環境や仕事に緊張しながらも、一生懸命に取り組んでいました。職場体験を通じて、仕事の面白さや大変さなど、様々な発見があったようです。また、挨拶や言葉遣いなど、社会人としてのマナーも学んでいただくことができ、有意義な職場体験学習となりました。
大阪商工会議所との産学連携講座「CAE基礎講座」の開講	1月25日（水）、本学と大阪商工会議所との産学連携による講座「CAE基礎講座」が開講しました。この講座は、2016年8月に開催された「3D造形演習」が好評を博し、さらに上級の講座を、という受講者からの要望のもとに実現した続編の講座となります。今回の講座は、製造プロセスのデジタル化を目指している中小企業の方々を主たる対象として、製造プロセスのデジタル化に関する基礎的な知識を習得していただくことを目的としています。
大阪市立昭和中学校の職業体験学習で本学教授が講師を担当	2月1日（水）、大阪市立昭和中学校で職業体験学習が行われ、工学部環境科学科の中田亮生教授が講師を務めました。この職業体験学習は2年生の生徒たちを対象に「柔道」、「カメラマン」、「調理師」、「美容師」、「エンジニア」、「旅行会社」、「漫画・アニメ」、「ITライセンス」の8コースに分かれて体験授業を行うもので、昭和中学校からの依頼のもと、中田教授が「エンジニア」コースを担当しました。
寝屋川市立中木田中学校の2年生を対象に「職場体験」を実施	2月8日（水）から10日（金）の3日間、寝屋川市立中木田中学校の2年生2人を対象とした「職場体験」を実施しました。この「職場体験」は、体験活動をとおして多くの人と出会い、ふれあうことにより、誰とでも協力できる心を育て、また、生徒一人ひとりに将来の進路を考えさせることを目的としています。このたび中木田中学校からの依頼のもと本学が協力し、駅前キャンパスで実施しました。業務内容は、次年度にむけた資料等の準備、掲示物の貼り替え、備品の在庫管理などで、2人は熱心にてきぱきと取り組んでいました。また、挨拶の仕方や入室時のルールなど、社会人としての基本的なマナーも学ぶことができました。職場体験を通じて、大学職員の仕事について理解し、仕事をするうえでの面白さや大変さを実感していただきました。そしてこの職場体験の目的である、人とのふれあいや協力の大切さについても十分に学んでいただきました。
寝屋川市立中央小学校の「チャレンジクラブ」に協力	2月7日（火）、9日（木）、14日（火）、16日（木）の4日間、寝屋川市立中央小学校による「チャレンジクラブ」が開催され、児童たちのクラブ体験に本学が協力しました。「チャレンジクラブ」とは、寝屋川市立中央小学校の4～6年生の児童らが、学習意欲の向上や技術の習得を目標にスポーツや工作などのクラブ活動を体験するイベントで、今年で14回目を迎えます。本学は地域ボランティア活動の一環として協力し、毎年さまざまな講座を実施しています。今年度は、寝屋川キャンパスでソフトボール、タッチフット、工作、管弦楽演奏、卓球の5講座を、中央小学校で映画研究、ハンドボール、アルティメット、バドミントンの4講座を担当し、各クラブ等に所属する学生たちが講師を務めました。計140人の児童が参加し、学生たちの指導のもと、寒い中グラウンドで元気にスポーツをしたり、楽器の演奏や工作に夢中で取り組んでいました。児童と学生のみなさんは、初日は緊張した様子でしたが徐々に慣れ、世代を超えた交流を楽しんでいました。
資産運用学科による「シニア向け社会人セミナー」を開催	2月24日（金）、金融経済学部資産運用学科による「シニア向け社会人セミナー」が駅前キャンパスで開催され、金融経済学部長の山本利明教授の司会のもと、資産運用学科の河上芳明教授が講義を行いました。河上教授は「グローバル化した社会と金融の行方」をテーマに、前半は国境を越えて広がるビジネスや、企業のAI化・ネットワーク化などについて述べ、後半は「Finance（金融）」と「technology（技術）」を掛け合わせた造語である「Fintech（フィンテック）」を取り上げ、金融の現状と今後まますます進むグローバル化・AI化について解説しました。受講者の方々は約2時間にわたる講義を非常に熱心に受講され、質疑応答なども活発に行われました。
大阪商工会議所東支部でオープン・ラボを開催	3月22日（水）、大阪商工会議所東支部によるオープン・ラボが開催され、先端加工技術に関心の高いモノづくり企業の方々を対象に、先端加工技術についての講演や3D造形先端加工センターの見学が行われました。本学では過去にも大阪商工会議所と「3D造形演習」、「CAE基礎講座」などの産学連携講座を開催しており、今回は大阪商工会議所東支部との産学連携によるものです。本学では今後も事業者及び公共団体との連携・協働を推し進め、地域や産業界の発展に尊与します。
「第13回 四條畷楠公まつり」でプロジェクションマッピングを上映	3月25日（土）、26日（日）、四條畷市の地域イベント「第13回 四條畷楠公まつり」が四條畷神社で開催され、25日の宵宮に、本学の産学官共同研究施設であるJIAMS（先端マルチメディア合同研究所）がプロジェクションマッピングを上映しました。四條畷市では、楠公祀や楠公通り商店街という町名に、国を愛し親の言いつけをよく守ったとされる南北朝時代の武将、楠木正行（小楠公）の名を留めており、素晴らしい歴史や伝統をもつ四條畷市に誇りと感謝を込めて「楠公まつり」を開催しています。楠公まつりでのプロジェクションマッピングの上映は今回が初めてで、『受け継がれてきたもの引き継いでいくもの』をテーマに、大迫力の3D映像と音楽で宵宮を盛り上げました